

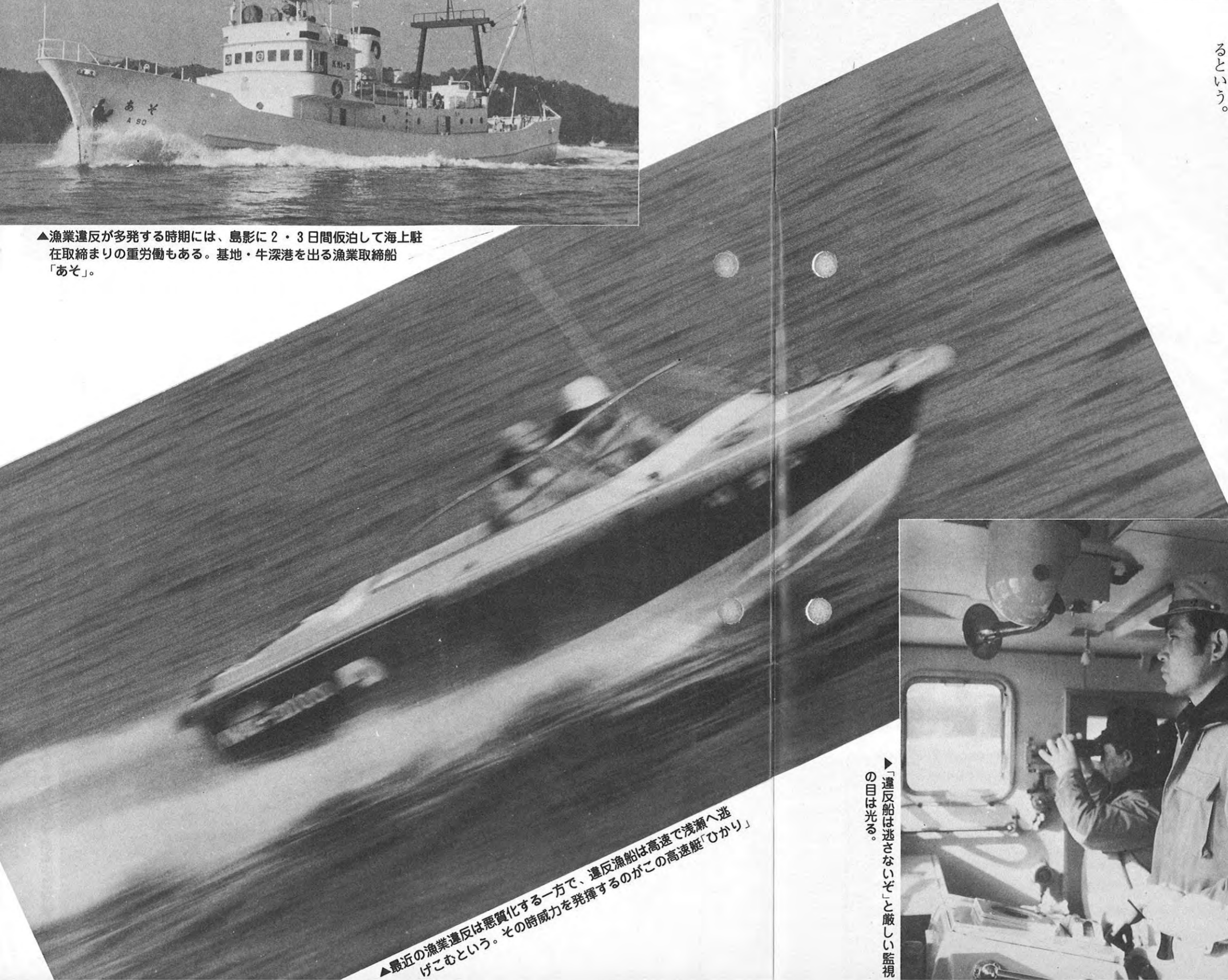
健全な漁場育成をめざして

本県には有明海、不知火海、天草西海と多くの漁場があるが、これらの漁場が違反漁業で荒らされないように監視し、健全な漁業の発展のため新春から昼夜を問わず働いている人たちがいる。熊本県漁業取締船の人たちだ。本県には「あそ」(二二八トン)をはじめ高速艇「はやぶさ」など六隻の取締船が違反漁業の監視に目を光らせている。しかし厳しい監視下でも、違反漁業は後を断たない。

今年を取締船を一隻増やし、さらに取締りを厳しくするという。



▲漁業違反が多発する時期には、島影に2・3日間仮泊して海上駐在取締まりの重労働もある。基地・牛深港を出る漁業取締船「あそ」。



▶「違反船は逃さないぞ」と厳しい監視の目は光る。

▲最近の漁業違反は悪質化する一方で、違反漁船は高速で浅瀬へ逃げこむという。その時威力を発揮するのがこの高速艇「ひかり」